

独学で学んだ知恵で、親しみやすいお菓子屋を目指す

ファミリーヌ



代表 金子 千夏氏
柏崎市鏡町3-38 桜井ビル101
Tel. 080-6528-9559

例年に無い六月に梅雨が明け、暑い日が続く七月の下旬、鏡町に有りますファミリーヌさんにお伺いしました。

代表の金子千夏さんは、昭和四十八年生まれの四十九歳。玉川大学の外国語学科卒業後は、将来的に英語の仕事に就きたく、イギリスの専門学校に一年間留学され、秘書の資格を取得されました。その後一年間、ウエールズにある語学学校で働きました。イギリス滞在中は十二ヶ国ほどヨーロッパへのバックパッカーもしていたそうです。帰国後は留学の方をサポートする会社に就職し、交換留学の手配や引率などを四年間されました。

その後転職され、外資系企業で七年間、営業事務やサプライチェーンの仕事をしてきたそうです。三十代後半で、ご主人の実家があ

る柏崎市に移住。最初は派遣会社に就職されていたそうですが、その時お菓子を作って同僚に食べてもらったら評判が良く、同僚の後押しもあり、二〇一二年東本町で「ファミリーヌ」を開業。「今までやって来た仕事とは全く違いますが、趣味でお菓子作りを始めたのをきっかけにお店を始めました。とても美味しい小麦に出会ったことが始まりです。」

四年後の二〇一七年には今の鏡町に移転オープンしました。

「小麦が本当に好きで、小麦の美味しさを伝えたいと思いました。小麦やバター、チョコレートや果物、素材の味を生かすようお願いのお菓子は余計なもの加えず、素朴なものばかりです。全てオリジナルのレシピです」と金子さん。

ご家族は？

「主人と保護猫三匹と暮らしています」

ご趣味は？

「料理やアンティークの食器など料理にまつわるものを集めること



です。猫たちとのんびり過ごす時間も大切にしています」

店名の由来は？

「ファミリーヌはフランス語で小麦粉と言う意味です。小麦のお菓子の店なので、そのままの名前にしようかと思いました」

今後取組みたい事をお聞きすると「粉の美味しさをお客様に伝えて行きたいです。いまどきのおしゃれさや華やかさはないけれど、身体に優しく、すつと馴染むような素朴な味を守って行けたらと思います。」

柏崎に移住後、独学でお菓子を学んで開業された金子さん。今では沢山のお客様がいて、取材中も次々にお客様が来ていて、信頼関係のあるお店だと感じました。

(十人衆 ㊦・㊧取材)

柏崎元気人登場 なじよだね

とは……？

当紙に掲載している「柏崎元気人登場なじよだね」は、柏崎地域の事業所を取材に行き、代表者の人となりや会社に入る想い、どのようなお仕事をやっているかなどをご紹介しますコーナーです。

取材には、商工会議所の会員で、会議所と会員の皆様とのパイプ役として活動を行っている小規模企業振興委員会の中から十名の方より「なじよだね編集委員」を務めていただき、毎月分担しながら取材・原稿作成を行ってまいります。

様々なお仕事で活躍されている会員の方々をご紹介しますので、ご期待ください。

ご期待ください!

